

JELC えるつてる

2006年

5月号

 No.701

ティーンズキャンプ

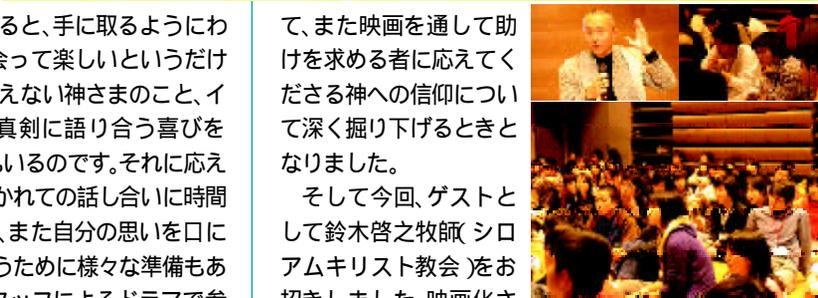
>>>>> 3.28 愛知

3月28日～30日、愛知県青年の家(岡崎市)にて恒例となりました春の全国ティーンズキャンプ(春キャン)が開催されました(キャンプ長 小泉道子姉)。全国各地から86名のティーンズと34名のスタッフが集い、恵まれたときとなりました。

TNG-Teens部門で春キャンの7年サイクルのテーマが決められたことを受け、「信仰」について取り上げ、神を呼び求めるきっかけ、入り口になることを目指し、キャンプは企画されました。テーマは「I Believe in God。」

年に一度、全国の仲間と出会うことはティーンズにとって何よりの楽しみとなっています。この

ことは、ティーンズの掲示板を見ると、手に取るようになります。しかし、ただ仲間と出会うというだけでなく、普段の生活では語り合えない神さまのこと、イエスさまのこと、信仰のことを真剣に語り合う喜びをティーンズは春キャンに求めてもいるのです。それに応え今回のキャンプは、グループに分かれての話し合いに時間を割き、お互いの思いに耳を傾け、また自分の思いを口にする機会を提供しました。語り合うために様々な準備もありました。ヨナ書を取り上げ、スタッフによるドラマで参加者に問いかけ、グループごとに劇に取り組むことによ



鈴木牧師の話に耳を傾けるティーンズ

て、また映画を通して助けを求める者に応えてくださる神への信仰について深く掘り下げるときとなりました。

そして今回、ゲストとして鈴木啓之牧師(シロアムキリスト教会)をお招きしました。映画化された「親分はイエス様」でも知られる先生の生き様と神との出会いの経験は、その気さくな人柄と一体となって参加者の心を大きく揺さぶり、神への信仰について深く考えるときとなりました。

春キャンは、ルーテルこどもキャンプ(旧国際少年少女キャンプ)の卒業生を多数迎え、スタッフに多くの青年を得、次世代のつながりを実感するときでもあります。ティーンズを送り出してくださいました皆さん、お祈りとお支えをくださった皆さんに心より感謝します。



春キャン、それは賛美、笑顔、語り合い、祈り。

婦人会連盟第20回総・大会のお知らせ

日本福音ルーテル教会
婦人会連盟第20回総・大会

— キリストの愛に生かされて —
わがらかり喜び・朗読会や喜び
聖書 ヨハネ 15章 11章

大会記念講演
講師 横田 幸子 牧師
[日本キリスト教団 聖書部 聖書部員 聖書部員]
主題 「関係性における愛」
副題 愛りあい・奇りあいを築くための

大会 2006年5月15日(火) 受付 13:00
資金 2006年5月14日(水)～15日(木)
場所 名古屋タウンホール TEL 066-211-4000
〒460-0008 名古屋市中区栄1-8-33

婦人会連盟より案内がありましたのでお知らせいたします。
第19期3年間を締めくくる総・大会を左記の通り開催いたします。
第20期新会長が選出され、7月より新しい歩みとなります。今後共にお支えをよろしくお願い申し上げます。

ルーテルこどもキャンプ

キャンプのホームページへは、
<http://www.jelc.net/~tng/>からジャンプ!

ルーテルこどもキャンプ

来んとい
ヒロシマ
Denise
しゃげん

2006年8月8日(火)～10日(木)
会場: 広島県 広島市 広島市立中央公園(広島市立中央公園)

心に残る体験プログラム
心に残る体験プログラム
心に残る体験プログラム

国際少年少女キャンプは、ルーテルこどもキャンプへと名称を変更いたしました。
今年も8月8日～10日の日程で、広島にて開催されます。どうぞ皆さんの教会からもう1名を送り出してください。また、キャンプのためにお祈りください。

CONTENTS

目次

- 1 ティーンズキャンプ
婦人会連盟第20回総・大会
ルーテルこどもキャンプ
クリスチャンのライフカレンダー
- 2 牧師の声・信徒の声
求道者の旅 14. ケネス・J・デール
- 3 謙を味わう 神の祝福を生きる
宣教する教会
- 4 議長コラム、新任挨拶、就任式
ディアコニアネットワーク、住所変更
各教区の新任常議員一覧、他

福音版

- 1 バイブルメッセージ「偶然が重なって」
- 2 心の旅を見つめて人生早期に母と子の絆を
HeQi Art 聖書物語
たろこままの子育てブログ

クリスチャンのライフカレンダー

～生まれてくるあなたへ～

新緑が目に見えやすくて、全てがいのちが萌え、輝く月になりました。今、私のお腹の中にも新しい命が宿っています。もうすぐ生まれてくるあなた。小さなあなたを抱いて、これから夏を秋を、そして冬を過ごし、来年はこの緑の木立の下をいっしょに歩くことができるのでしょうか。

命が与えられることの神妙さを思うと感動で心が震えます。命は神からの贈り物。詩編の作者も歌っています。主よ、あなたは私の内臓を造り、母の胎内に私を組み立ててくださったと。

この前の超音波検査で医師から、育つことが難しい。形骸異常が胎内の中にあると告げられ動揺してしまいました。今もまだ心の中には不安があります。けれど私はあなたという素晴らしい命を造ってくださった神様に、そしてこの私を母として選んでくださった神様に深く信頼したいと思っています。これから起こる色々な困難や問題も神様とともに必ず支えてくださると信じて、生まれてくるあなたと一緒に歩んでゆきます。

先日、教会の姉妹が心配しないで、赤ちゃんはみんな育てるからね!と伝えてくれました。とても嬉しかった。家族も教会の兄弟姉妹もみんな祈ってあなたの誕生を待っています。あなたと会える時はもうすぐですね!

Teensの詩が本になりました。

第13回全国春のティーンズキャンプに参加した72名のティーンズが表現しました。

申込は...
宣教室 TNG-Teens
佐藤和宏まで
email:
TNG_goods@jelc.or.jp



「いのちの詩」
(A4変形140ページ)
1冊 500円

Information
5

発行所 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
〒162-0842 電話03-3260-8631
日本福音ルーテル教会事務局広報室
振替口座 00190-7-71734
ウェブサイト <http://www.jelc.or.jp>
E-mail jelc@jelc.or.jp
発行人 徳弘浩隆 tokuhiro@jelc.or.jp
印刷人 精文堂印刷株式会社(定価1部40円)



詩編を味わう 文 賀来周一

2 | つぶやきの信仰

主よ、わたしの言葉に耳を傾け、つぶやきを聞き分けてください。わたしの王、わたしの神よ、助けを求めて叫ぶ声を聞いてください。

あなたに向かって祈ります。主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。

詩編5編2〜4節

神への祈りは常に感謝と讃美の言葉で綴らねばならないのでしょうか。人はときに辛い思いをもって今日を生きねばならないこともありまじゅう。朝目覚めるとき、嗚呼今日も重苦しい一日が始まると思ひ、夜床に就くとき明日の目覚めがないことを願う日々を送る人々にとっては、口から出る祈りが感謝と讃美にあふれるとはとても思えません。むしろ愚痴と嘆きではありませんか。

愚痴と嘆きの居場所

嘆きの詩編といわれるこの詩の作者は人には言われぬ重たい日々を送っていたのでしよう。眠れぬ夜を過ごし、朝目覚めた時に真っ先に心に思い浮かぶのは愚痴と嘆きだったにちがひありません。つづいて神への祈りはつぶや

きとなって口から出るのです。これを不信仰というのでしょうか。これを不信仰というのなら、口先だけの感謝と讃美の方がもっと不信仰といわねばなりません。作者は、神がつぶやきを聞き分けてくださるお方であるを知っています。つぶやきは聞かないように、別にしてくださいという意味ではありません。つぶやきだけを聞いてくださいといっているのです。神はつぶやきを聞いてくださいます。毎朝、神に向かってつぶやくことができる信仰をもっている人は幸いです。神は本音を聞いてくださるお方であることを知っているからです。

作者は、本音で神と向かいあっているのです。信仰の世界は、奇麗ごとを許さず、ありのままをさらけ出すことをよしとする世界です。ときにつぶやきは嘆きとなり怒りとなり、悲しみとなることもありまじゅう。言ってみれば、神に対するわがままです。しかしながら、彼にとっては、神はわがままを聞いてくださる方でありました。なんと、という素晴らしい信仰でしょう。

もしも信仰の世界が、整った感謝の言葉と美しい賛美の調べだけででき上がっているとするれば、眠れぬ夜を過ごす人々は、どのような言葉を口にすればよいのでしょうか。取り繕って感謝と賛美をささげたとして、じらじらしい思いが付き纏っただけです。

現代の教会は、信仰の世界を美しく飾り過ぎます。信仰者は元気で、明るく健康でなくてはならないかのようです。愚痴をこぼしたり、メソメソしていたのでは不信仰の中からまだ抜け出していないのだと叱咤されるかもしれません。美しく健康な信仰の世界だけが、大手を振って教会の中を闊歩するならば、愚痴と嘆きをこぼす者は居場所を失います。信仰の世界は、愚痴も感謝も嘆きも喜びも等しく堂々と教会の中に居場所を持たねばなりません。

笑いより悲しみを、喜びよりも愁いを

ヤコブの手紙はそれ以上に驚きのメッセージを伝えています。笑いを悲しみに変え、喜びを愁いに変えなさい(4章9節)と言っています。笑いよりも悲しみを、喜びよりも愁いを信仰の場に引き出しているのです。笑いと言ひだけが信仰にふさわしいとは言いません。このヤコブの手紙の言葉は、眠れぬ夜を過ごす者にとっては、この上ない慰めです。教会の裏舞台であたかも不信仰のしるしを掲げたかのような愚痴と嘆きのつぶやきが、信仰の世界の中に市民権を得ていることを教えてくれるからです。

神は朝ごとにつぶやきの言葉のみが神への祈りであるような者の声に耳を傾けてくださる。しかも取り分けてつぶやきを聞き分けてくださる。このような神との祈りの時を持つ者は幸いです。

しばしば教会の看板には、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとにきなさい。休ませてあげよう」(マタイ11章28節)とのみ言葉が掲げてあります。疲れた者、重荷を負う者は元気がありません。目頭が涙でうるんでいるかもしれません。つづいて愚痴が口からついで出るのであり、嘆きの言葉が祈りの代わりとなることもありまじゅう。休ませてあげようとは、主はそれだけでよいのだとおっしゃっていることに他なりません。主がゆるしてくださるのであれば、立派な信仰の姿です。つぶやきを聞き分けてくださるお方がそこにいますことを知っているからです。

各地の働きから宣教する教会

バザーのこれから、新しいカタチ

宮崎教会

「教会バザー」から「オープンチャーチ」と名称を変えて、3年目を迎えます。教会が地域に根ざし、より多くの人たちが教会に足を運んで下さるようになるにはどうしたらよいか、毎年試行錯誤を重ねながら歩んでいます。そして、それは 1 教会の活動の一端を見ていただく機会とすること 2 地域の方たちと一緒にやり、かつ交流の場としたい、という私たちの希望に沿って行なわれています。

イベント会場 礼拝堂)



では、わらべ歌・お話し読み聞かせ・パイプオルガン演奏等を親子で楽しんでいただき、集会室では食卓・食品や物品の販売。屋外では、地域の福祉作業所の方たちによる出店、クッキー・パン・手芸品・苗木等があり、また公立大の学生たちによる「地雷ゼロ宮崎」の活動写真の展示やお話し。子どもコーナーでは、地元のボランティアの方によるパレオン遊び等が行なわれます。

当日は、若い世代の親子の姿が多く見られるようになりました。教会の明日へ繋げることができると、願っています。(三好九子)



千葉教会

千葉教会では、一般的な形式(?)のバザーが今年も開催されました。と言っても、園遊施設から人的にも、物的にも多大な支援を受けていますから、恵まれた環境にあると言えるでしょう。地域にも根ざし、4月29日には近隣よりたくさんの方が来場されます。また、信徒が友人、知人を誘う機会としても意義があります。

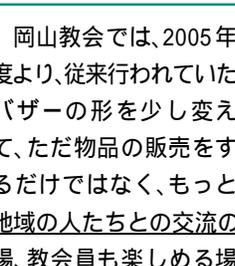
千葉教会バザーの目玉は様々ありますが、手作りパンや菓子、農家で獲れた野菜や教会員の畑で獲れた草花などは口コミでも広がり、人気を集めています。



岡山教会

岡山教会では、2005年度より、従来行われていたバザーの形を少し変えて、ただ物品の販売をするだけではなく、もっと地域の人たちとの交流の場、教会員も楽しめる場にするために、「秋のるうてるフェスタ」という名称で新しい試みをしてみました。

結果は、大成功で、フェスタ当日の11月13日は大雨だったにも関わらず、大勢の方が教会を訪れてくださいました。特に、教会員の「作品展示コーナー」は好評で、写真や、焼き物、絵画や書などの作品が飾られ、お客さんとの間で楽しい会話が交わされておりました。



また、コーヒーやケーキを楽しみながら、ギターの弾き語りに合わせ、みんなで懐かしい歌やポピュラーな歌を歌った「歌声喫茶」も大変な盛り上がりで、家族連れの方たちからも、「こんな機会は、なかなかない。ぜひ、またやってほしい」とのリクエストを多数いただきました。

やはり、教会員にとっては大忙しの1日となりましたが、今年には更に工夫して自分たちも無理せず楽しめる行事にできたらと考えています。(坂本千歳)



バザー当日は、教会の活動を画像にして紹介したり、教会案内を買い物袋に入れたりしています。成果はすぐには表れませんが、中に入ってもらおうこと、教会の雰囲気を味わって、身近に感じてもらうことが大切だと思います。

近年、フリーマーケットや格安ショップの台頭により、バザーのあり方が問われています。同じことを習慣的に繰り返すのではなく、かつ今の形も大切にしながら、新たな展開を目論んでいるところです。



神の召しに応えて

今年任用された3名の教職の方々からメッセージをいただきました。(敬称略)

すべてが新しい出会い・環境であるはずなのに、前に来たことがあるのではないかと思われるほど、とても自然で、心に安らぎを感じています。これも神様の御導きと、感謝しています。

浜松教会は静岡大学の通りに面していて、毎日、人も車もたくさん通っています。伝道のアイディアがウズウズしています！ 浜松教会の皆さんも伝道したくてウズウズしています！ 教会にしかないものを大切にしながら、堅実にやっていきたいと思っています。

イエスを誇りに！

花城 裕一郎
浜松教会



毎朝聖書を聞くことから始め、1週間戦ってこられた会員の方には、おかしな感じが！と、悩みを抱え入った方には、一緒に神さまに祈りましょう……と語りかけていただく毎日。

きっと誰でも東京教会に一歩足を踏み入れた方は、神さまの家に呼ばれているんです。イエスさまがこの東京教会に、そして大久保通りに立っていただこうされるだろうが、神さまどうしたらいいですか？とすがりながら、全力で伝道していきます。



東京教会に 来て下さいね

関野 和寛
東京教会

鳥根山口にまたがるシオンの群れに遣わされて約ひと月。自分が一番何も持たない、というところを実感する毎日です。

しかし、ペトロは言った。わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい(使徒言行録3章6節)。他ならぬ主が、その何も持たない者とともにいて、みこばを委ねてくださっている。その事実に感謝して歩みたいと思っています。よろしくお願いたします。



ただひとつの持ち物

西川 晶子
防府教会、徳山教会、益田教会、柳井教会

2月11日名古屋で、われらに日毎の糧を今日も与えたまえと題し、中井弘和氏(静岡大学名誉教授・小鹿教会員)にお話を伺いました。

世界の飢餓人口は12億2秒に1人は飢餓のために死んでいる。飽食日本の穀物自給率は24%と、1990年の7(米)134.6(印)99.7(中)95.8(など)。

アジアの中でも異常な低さ。それを知らずに安価な輸入食料を買い求める消費が、そのことが日本の農業を衰退させ、世界の環境を悪化させている。地球規模で考えたときに、日毎の糧を今日も与えたまえという祈りが現実の切実な祈りとなるために、私たちが何を变えていかなければならないか。大きなテーマを前に、さまざまなお話を学んだセミナーでした。詳しい報告は、ネットワーク機関紙「緑豊かな国」に次号掲載。

第6回 ディアコニア 環境・人権・平和セミナー 報告

訂正
お手元の教会手帳の住所録に誤記がありました。以下の通りに訂正します。

紙谷守 電話番号
電話FAX共用
0977248400
銚子集会所
電話番号が記載されていますが、現在電話はありません。
中越ルーテル教会(日本ルーテル教会)
電話・FAX共用
0256331857

住所変更

川口 誠
〒431-0423
静岡県湖西市入会地12の26
市町村合併に伴う住所変更

住所変更

甘木教会
〒838-0068
福岡朝倉市甘木1861
丹澤 桂
〒409-3842
山梨県中央市東花輪1351の6

「日本国憲法記念日です。今力の均衡による平和維持論から丸腰による平和創造論への大転回が唱われている日本国憲法が危機にさらされています。それはこの憲法が一度の原爆被爆という悲惨さを体験した中から生まれたということが忘れられようとしているからです。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺があります。日本の歴史は今その愚かさを犯そうとしています。戦争を知らない世代が国政の指導者となった。あの日本国憲法の人類的意義が見失われようとしています。

前文に「われらは平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと務めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思

う」とありますが、今この文言のもつ意味が「国際協調」という名のもとに、乱暴に振舞われようとしています。

「ここでいう名誉ある地位」とは人類が未だに取り組んでいないことを実現させることにより得られる地位です。それは常に幻想に終わってしまう武力の均衡による平和維持から丸腰による平和創造への転換です。それを表現させるために、日本国憲法の第九條が規定されました。即ち、人類はこれまで相手と同じ力を持つたことにより、お互いを牽制し、一方が他方を支配することのないように自論をできました。しかし、その自論は常に破綻して来ましたが、この愚かな歴史を繰り返さないことを誓ったのが日本国憲法の前文

(m-yamanouchi@jelc.or.jp)



議長コラム

「日本国憲法を護ろう」

と第九條なのです。力の均衡による平和維持論は、お互いを敵視する人間観に基づいています。日本国憲法の前文は、そのことを否定しています。曰く、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、ここに人類が勝り取った平和への大転回があります。日本国憲法を人類の至として存在し続けさせるために、この国も仮敵国とみることもなく積極的に交流して平和を創造して行きたいと思えます。

ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校 学長・校長・チャプレン就任式

2006年4月5日(水)午後3時~



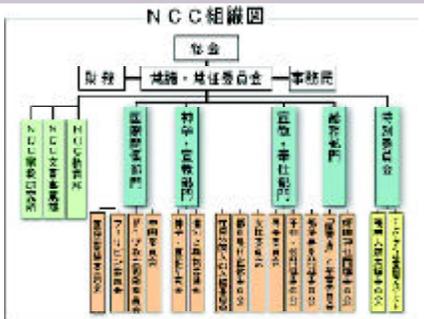
学長・校長・チャプレンの任期は4年間。法人理事会の議を経て、学長に市川一宏教授(再任2期目)、校長に江藤直純教授(再任2期目)、チャプレンには河田優牧師が新に着任された。

式では、「喜びを内に秘めて」と題した山之内議長「ELC」による説教から、それぞれが担う責務を全うすべく、力強い支援のメッセージが語られ、続いて高野議長



総会で選出された新常議員

地区	教区長	副教区長	書記	会計	伝道・奉仕	牧務	社会	副議長
北海道地区	藤井 邦平	藤田 肇	藤田 肇	藤田 肇	大智 隆夫	藤田 肇	藤田 肇	山本 啓吾
東北地区	山内 浩通	大塚 隆幸	平岡 正幸	藤原 雅彦				
関東地区	藤田 肇							
中部地区	山内 浩通							
近畿地区	山内 浩通							



日本キリスト教協議会(NCC)第36回総会(2006年3月13日)が、日本基督教団下谷教会を会場に3月13、14日に開かれました。日本福音ルーテル教会からは9名の総会議員が選出されています。今回総会では鈴木 怜子議長に代わり、奥石 勇氏(日本聖公会)が新議長に選出されたほか、第36会期活動方針と諸委員会設置が承認されました。各加盟教会の教勢低下からくる財政難も緊急課題として、NCCの抜本的な組織財政の見直し課題とされています。

第36会期活動方針と諸委員会設置が承認されました。各加盟教会の教勢低下からくる財政難も緊急課題として、NCCの抜本的な組織財政の見直し課題とされています。